

事業群評価調書(令和6年度実施)

| | | | | |
|-------|-------------------------------|----------------|---|-------|
| 基本戦略名 | 1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る | 事業群主管所属・課(室)長名 | 福祉保健部 長寿社会課 | 中村 直輝 |
| 施策名 | 8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現 | 事業群関係課(室) | 雇用労働政策課 | |
| 事業群名 | ① 高齢者の元気で生きがいのある暮らしと社会参加の促進 | 令和5年度事業費(千円) | ※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額 124,864 | |

1. 計画等概要

| | | | | | | | | | |
|---|---|--|------|------|------|------|------|----------|---|
| (長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文) | | (取組項目) | | | | | | | |
| 平均寿命が大幅に伸びる中、元気な高齢者の方が増えてきていますが、今後も生き生きと暮らし続け健康寿命を延ばさせることができるよう、本人の希望やライフスタイルに合った就業や社会参加の機会の拡大を図っていきます。 | | i) 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施 ii) ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進 iii) 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり | | | | | | | |
| 事業群 | 指標 | 基準年 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 最終目標(年度) | (進捗状況の分析) |
| | 社会参加などについて幅広く相談できるワンストップ窓口を通じて社会参加につなげた件数 | 目標値① | 520件 | 540件 | 560件 | 580件 | 600件 | 600件(R7) | |
| | 実績値② | 464件(H30) | 157件 | 194件 | 331件 | | | 進捗状況 | |
| | 達成率②/① | | 30% | 35% | 59% | | | 遅れ | 高齢者の社会参加の機運を醸成するため、スマホ講座など高齢者のニーズに応じたミニセミナーを県内各市町において27回開催し、860名に参加いただくとともに、ワンストップ相談窓口の登録者331名に対し、情報提供などの支援を行った。 コロナにより減少していたセミナー参加者等は、回復傾向にあるため、引き続き事業を推進し、高齢者の社会参加の拡大を図っていく。 また、高齢者の社会参加の裾野を広げていくためには、身近な市町における支援体制構築が重要であるため、引き続き、各市町に対し、「就労的活動支援コーディネーター」等の配置や相談窓口の設置などの体制整備を働きかけるとともに、連携して事業を推進していく。 |

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 事業費(単位:千円) | | | 事業概要 | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) | | | 令和5年度事業の成果等 | |
|------------|----------------|--------------|------------------|--------------------|---------------------|---------|--|---------------------|------|------|-------------|---|
| | | | | R4実績 | うち一般財源 | 人件費(参考) | | 主な指標 | R4目標 | R4実績 | | 達成率 |
| | | | | R5実績 | | | | | R5目標 | R5実績 | | |
| | | | | R6計画 | R6目標 | R6実績 | | | | | | |
| 事業実施の根拠法令等 | | | | 事業対象 | | | | | | | | |
| 事業期間 | 法令による事業実施の義務付け | 県の裁量の余地がない事業 | 他の評価対象事業(公共、研究等) | | | | | | | | | |
| 所管課(室)名 | | | | | | | | | | | | |
| 取組項目 iii | ○ | 1 | 生涯現役促進支援事業 | 18,549 | 0 | 7,653 | ●事業内容 高齢者が生き生きと輝く生涯現役の社会づくりを目指し、高齢者の社会参加を支援する。 ●実施状況 社会参加に意欲のある高齢者が、気軽に相談できるワンストップ相談窓口を設置し、相談者の経歴やライフスタイルに沿った個別支援を行うとともに、高齢者の社会参加への意識を啓発するため、市町と連携したミニセミナーを県内各地で開催した。 | 【活動指標】 | 24 | 32 | 133% | ●事業の成果 ・スマホ講座など高齢者のニーズに応じたミニセミナーを市町等と連携のうえ27回開催し、860名の参加者を得ることができた。ワンストップ相談窓口での登録者数については、目標を下回ったが、登録いただいた331人に対して情報提供などの支援を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・セミナー開催による啓発や意識の醸成を行うとともに、高齢者のワンストップ相談窓口を設置、運営することで、高齢者自らの希望に応じた社会参加の推進に寄与した。 |
| | | | | 15,634 | 0 | 7,659 | | 高年齢向けミニセミナー開催回数(回) | 24 | 27 | 112% | |
| | | | | 18,760 | 0 | 7,781 | | | 24 | | | |
| | | | R2- | — | | | | 【成果指標】 | 375 | 194 | 51% | |
| 長寿社会課 | — | | | 県内の社会参加意欲のある元気な高齢者 | ワンストップ相談窓口での登録者数(人) | 375 | 331 | 88% | | | | |
| | | | | | | 375 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------|-----------------|--------------------------------|--------|--------|--|---|---------------|------------------------------|-----------------------|---|--------|--------|-----|--|--|
| 取組項目 ii iii | 2 | 明るい長寿社会づくり推進機構費 | 42,000 | 39,890 | 3,827 | ●事業内容 明るい長寿社会づくり推進機構((公財)長崎県すこやか長寿財団)が実施する高齢者の生きがいと健康づくりに関する各種事業に対し助成を行い、高齢者の社会活動の振興を図る。 ●実施状況 (公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねりんピック事業やアクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。 | 【活動指標】 高齢者スポーツ大会等の開催回数(回) | 12 | 13 | 108% | ●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和2・3年度は大会を中止したこと、また、重症化リスクが高い高齢者の活動自粛の影響等もあり、コロナ前と比較すると参加者数は減少しており目標値を達成することはできなかったが、参加者数は増加傾向にある。 ●事業群の目標達成への寄与 ・高齢者の参加機会の提供を通して、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりに寄与した。 | | | | | |
| | | | 41,849 | 37,635 | 3,830 | | | 12 | 12 | 100% | | | | | | |
| | | | 50,267 | 46,053 | 3,891 | | | 12 | | | | | | | | |
| | | | 長崎県明るい長寿社会づくり推進機構運営事業費等補助金実施要綱 | | | | | 【成果指標】 | | | | 6,000 | 3,917 | 65% | | |
| | H3- | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 長寿社会課 | | | | 県内の高齢者 | | | | | | | | | | | |
| 取組項目 iii | 3 | 老人クラブ等育成事業 | 60,065 | 29,366 | 765 | ●事業内容 老人クラブ活動のより一層の活性化を図ることにより、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ等に対し、国、県及び市町で協同して補助を行う。 ●実施状況 単位老人クラブが行う老人クラブ事業、市町老人クラブ連合会が行う活動促進事業、健康づくり・介護予防支援事業及び地域支え合い事業、県老人クラブ連合会が行う活動推進事業及び若手高齢者組織化・活動支援事業について補助を行った。 | 【活動指標】 事業実施単位老人クラブ数(クラブ) ※中核市を除く | 1,123 | 1,095 | 97% | ●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがいづくり、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。 | | | | | |
| | | | 59,140 | 27,979 | 766 | | | 1,095 | 1,078 | 98% | | | | | | |
| | | | 61,953 | 28,045 | 778 | | | 1,078 | | | | | | | | |
| | | | 高齢者在宅福祉事業費補助金実施要綱 | | | | | 【成果指標】 | | | | 52,178 | 49,235 | 94% | | |
| | | | | S38- | | | | | | | | | | | | |
| | | | 長寿社会課 | | | | | | 単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く) | | | | | | | |
| 取組項目 iii | 4 | 高齢者等雇用安定対策費 | 8,045 | 8,045 | 3,061 | ●事業内容 高齢者等の失業の防止、再就職の促進等、高齢者の雇用の安定を図る。 ●実施状況 長崎県シルバー人材センター連合会に補助金を交付し、センターが行う高齢者の雇用の安定、就労を通じた社会参加の促進等に関する活動を支援した。 高齢者雇用支援のつどいの開催等により、高齢者の継続就労、再就職、雇用の安定を図った。 | 【活動指標】 高齢者雇用支援のつどいの参加者数(人) | 110 | 47 | 43% | ●事業の成果 ・高齢者雇用支援のつどいについて、令和5年度からオンライン参加を取り入れ、参加者数は前年度よりも増加した。目標には達していないが企業に対し、高齢者雇用に関する普及啓発を一定程度図ることができた。 | | | | | |
| | | | 8,241 | 8,241 | 3,063 | | | 110 | 66 | 60% | | | | | | |
| | | | 8,245 | 8,245 | 3,112 | | | 110 | | | | | | | | |
| | | | 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条 | | | | | 【成果指標】 | | | | 100 | 99.4 | 99% | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 雇用労働政策課 | ○ | | | | | シルバー人材センター、県内企業 | 65歳までの継続雇用がある企業の比率(%) | | 100 | 99.7 | 99% | | |

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

| | | | |
|----|--|---|---|
| i | 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施 | ●実績の検証及び解決すべき課題 セミナーについては、各市町と連携のうえ県内12市町において27回開催し、860名の参加者を得ることができた。また、社会参加に関するワンストップ相談窓口である「ながさき生涯現役応援センター」に登録いただいた331名に対し、情報提供などの支援を行うことはできたが、高齢者から個別具体的な相談を受けることは少なく、マッチング支援は十分とは言えない状況にある。今後は、意欲が高まった高齢者をいかにして社会参加につなげていくかが課題である。 | ●課題解決に向けた方向性 社会参加の裾野を広げていくためには、身近な市町においても、高齢者が気軽に相談できる場を設けることが有効であるため、各市町に対し、高齢者個人の特性や希望に合った活動をコーディネートする「就労的活動支援コーディネーター」等の配置や相談窓口の設置などの体制整備を働きかける。 |
| ii | ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進 | ●実績の検証及び解決すべき課題 受賞団体の活動内容を県HPにおいて周知するとともに、「ながさき生涯現役応援センター」開催のセミナー内において、地域の身近なところで活躍している団体の活動の紹介を行い、ボランティア活動等に対する意識啓発を行った。今後は、意欲の高まった高齢者が、具体的なボランティア活動等につながるよう、市町(生活支援体制整備事業)や関係団体等と連携のうえ、取組を進めていく必要がある。 | ●課題解決に向けた方向性 ボランティア活動等で活躍する団体をさらにPRするとともに、市町の生活支援体制の整備状況等を踏まえながら、生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディネーターと連携し、意欲の高まった高齢者と活動団体等とのマッチングを図っていく。 |

| | |
|---|---|
| iii 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり | |
| <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県及び市町が支援する老人クラブの会員数は年々減少し続けており、高齢者を社会参加につなげる仕組みづくりの進捗は十分ではない。老人クラブの会員数の増加を図り、活動を活性化させる必要があるとともに、老人クラブ以外の高齢者関係団体との高齢者活用のマッチングも課題である。</p> | <p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県老連、市町老連及び単位クラブが会員数の増加を図る取組を一体となって実施できるよう支援するとともに、退職者団体等老人クラブ以外の団体と連携した社会参加の仕組み作り等を推進する。</p> |

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 | 令和7年度事業の実施に向けた方向性 | | |
|-------------|------|------|-----------------|--|-------------------|--|-------|
| | | | 事業期間 | | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| | | | 所管課(室)名 | ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載 | | | |
| 取組項目 i iii | ○ | 1 | 生涯現役促進支援事業 | セミナー内において高齢者の活躍の場等の情報を紹介するとともに、セミナー受講後も、社会参加に関する情報提供等を積極的に行う。 | ② | 市町においても住民からの相談に対し、より効果的に支援ができるよう、「就労的活動支援コーディネーター」等の配置や相談窓口の設置などの体制整備について、市町と連携したセミナー開催などを通じ支援していく。 | 改善 |
| | | | R2- | セミナー受講後における情報提供等については、市町においても実施し、社会参加についての具体的な行動変容を促す。 | | | |
| | | | 長寿社会課 | | | | |
| 取組項目 ii iii | | 2 | 明るい長寿社会づくり推進機構費 | シニア競技の普及を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業(主に軽スポーツの普及活動)について、対象競技を見直し、新たな競技人口の拡大を図る。 | ② | シニア競技の普及啓発を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業の活動(主に軽スポーツの普及活動)を拡充し、競技人口の拡大を図る。 | 改善 |
| | | | H3- | また、「生きがい作品展」の施設からの出品数は、コロナ前までの出品数には至っていないため、関係団体とも協議し、出品を促していく。 | | | |
| | | | 長寿社会課 | | | | |
| 取組項目 iii | | 3 | 老人クラブ等育成事業 | 高齢者の生きがいや健康づくり、地域支え合い活動等で重要な役割を果たしている老人クラブの会員数減少に歯止めをかけるため、令和6年度から新たに「いきいきシニア活躍応援事業」を創設し、単位老人クラブの事務負担軽減や会員以外も参加できる老人クラブイベントの促進等に取り組むこととしている。 | ② | 市町、市町老人クラブ連合会及び県老人クラブ連合会等と連携し、「いきいきシニア活躍応援事業」の積極的な活用を促していくとともに、時代に合った老人クラブの在り方の検討(愛称の設定等)、次世代リーダー育成に向けた研修の充実等についても、引き続き効果的な取組を検討していく。 | 改善 |
| | | | S38- | | | | |
| | | | 長寿社会課 | | | | |
| 取組項目 iii | | 4 | 高齢者等雇用安定対策費 | ― | ⑧ | 高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、高齢者の意向に沿った就業機会を確保するため、「県シルバー人材センター連合会」に対し県が補助するとともに、シルバー人材センターが安定的な運営ができるよう国へ要望を行い、センターに対しては国の制度の活用について必要な支援を行う。 | 改善 |
| | | | ― | | | | |
| | | | 雇用労働政策課 | | | | |

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点